

美咲野大賞 全校朝会で紹介!

今年度、「美咲野大賞」なるものを始め、全校集会で紹介していることは前にもお伝えしました。給食を取りに行く時、返すとき、しっかりあいさつができています。職員室の入り方は注意するどころか「今の言い方良かったね。」と褒める場面が増えてました。あいさつも、前より良くなりましたが、個人差が大きいなあと感じます。気持ちのいいあいさつがみんなできるように、繰り返し繰り返し、こちらからあいさつすることが大切だと思っています。周りの大人からあいさつをしていきましょう。
今日は、その後の美咲野大賞についてお知らせします。

美咲野小だより

9月 

NO.27
H28.9.9
大津町立美咲野小学校
文責：草場ルミ子

7月 気づき考え行動部門



梅雨の頃のことです。中庭に1年生の朝顔と2年生のミニトマトが並べてありました。雨風がひどく鉢が倒れていました。それに気付いた5年生の男の子が、雨に濡れながら倒れた鉢を起こしてくれました。それを知った5年生の有志が、翌日も倒れていた鉢を、雨に濡れながら起こし、こぼれた泥を手ですくって、元に戻してくれました。鉢が倒れていることに気付いても雨の中、このような行動はなかなかできないものです。このように、気づく感性、考えて行動に移す力、すばらしいですね。

そうじ部門



また、そうじ部門では、入学して4ヶ月しかたたない1年生の拭き掃除があまりに上手なので紹介しました。板の目に沿って、隙間なくきちんとぞうきんがけをしています。端っこまでいったら、くるっと向きを変えて隅々まで拭いています。さすがです。こんな風に掃除ができれば、新しい美咲野小は掃除が行き届いた、ますますきれいな学校になりますね。

校長室の窓が

全校集会で「姿勢部門」の紹介をした後、教室を見に行く、どの教室でも私の姿を発見するやいなや、いすを引き、背骨をたて、姿勢を良くする姿が「ほらちやんとせなよ。」と目を合図！私と目が合って、上靴のかかとを踏んでは「ほらちやんとせなよ。」と目と目が合図！私と目が合って、上靴のかかとを踏んでは「ほらちやんとせなよ。」と目と目が合図！またある教室では、「なんで校長先生がきたときだけちやんとするとさ？」と意見する姿も！その通りですよ。誰かが見ているからではなく、授業中、姿勢を良くすることは、当たり前。その方が学習もはかどるし、力が付く。これも美咲野小の伝統にしていきたいです。

夏休み明け、教室をまわっていると「え～っ！ここ教室なんだけど！」という姿勢の子が目立ちます。机に肘を付くくらいのもではなく、あごが付くくらいの姿勢です。今回、2年2組の尾ノ上先生が渾身の演技で、悪い見本を見せてくれました。良いお手本は、2年生の選ばれし8名です。尾ノ上先生を見て、自分はちゃんとしてますと言わんばかりに大笑いしていた子もいましたが、果たしてそうかな・・・？また尾ノ上先生を見たり、お手本の子どもたちを見たりして自然に背筋が伸びている子もいました。「腰骨をたてること」はとても大切なことです。どの教室も2年生のお手本の子のような姿勢になることを目指します。



9月 姿勢部門



十人十色 みんな違って
とってもカラフル
違いを認めて
ますます深まる私たちの絆

～平成27年度 熊本県
人権メッセージ作品集より～

毎年、熊本県人権啓発センターが人権メッセージを募集しています。H27年度は15170点の中から10点の優秀作品が選ばれたそうです。とても考えさせられるメッセージです。シリーズで紹介します。

9月1日から新しい先生が2人赴任されました。

校務員：大塚規雄 先生 主に給食のお世話をされます。
生活支援員：田端浩子 先生 主に1年生に入って頂きます。